

件名	保育料値上げの再考に関する請願		
提出者住所氏名	墨田区押上三丁目4番8-601号 すみだの保育を考えるネットワーク 代表 伊藤正幸 外2,853人		
受理年月日	平成18年6月8日	受理番号	第2号
紹介議員	片倉 洋		
<p>要旨</p> <p>1 すべての子育て世帯の子育てに関する経済的な負担を軽減する施策を進めること。</p> <p>2 2006年7月から実施を予定している「保育料値上げ」は、広範な区民や保育園利用者の同意が得られるまで凍結し、協議をつくした上で再考すること。</p> <p>(理由)</p> <p>景気に回復傾向が見られるとはいえ、若年層を中心に非正規労働者が増大し、低賃金のため結婚・出産できないという実態が広がっています。墨田区においても未婚化・晩婚化が進行、子育て世帯においても経済的な負担の大きさから理想の子ども数と現実の子ども数との間に大きな隔たりが生じています。</p> <p>2005年3月に区が策定した「次世代育成支援行動計画」には、調査結果に基づいて「実際の子どもの人数がほしいと思う人数より少ない理由の第1位に、経済的な負担が大きいことがあげられています。」という記述があります。さらに、この計画は「保育園保育料の見直しを検討」することを明記し、その具体策として区は、2005年7月に「墨田区保育サービス利用者検討委員会」を発足させました。この検討委員会では「保育料の値上げが必要」という意見、「保育料値上げは次世代育成支援の流れに逆行するもので、むしろ思い切った負担軽減策をとるべき」という意見に二分され、一つの結論には達しませんでした。</p> <p>その後、2005年12月の区議会では、区長が「区民のあるいは保護者の意見を聞いた上で保育料の改定は決定させてもらいたい」と答弁しました。しかし、2006年3月、墨田区は区民や保護者の意見を聞くことなく、区議会に認可保育園の保育料を月額1,200円から4,000円値上げする条例案を提案、賛成多数で可決されました。</p> <p>自らの調査結果や自らが発足させた検討会の検討経過などを軽視し、保育料値上げを断行しようとする墨田区の姿勢は理解に苦しみます。少なくとも区長の答弁を尊重し、区民や保護者の意見を聞いた上で値上げの可否の結論を出すべきではないでしょうか。</p> <p>墨田区を、子どもを生み育てやすい地域にするために、子育て世帯の経済的負担を軽減する視点での施策の充実を求めます。</p> <p>以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>			